

通信子会社 InfiniVAN、NPO 法人アクションが手掛けるフィリピンの小学校向け給食支援プログラムをスポンサーとしてサポート

当社の通信子会社である InfiniVAN, Inc.（本社：フィリピン、President：中原茂樹、以下「InfiniVAN」）は、社会課題の解決を目指す活動の一環として、フィリピンにおいて貧困地域の子ども支援などを行ってきた NPO 法人アクション（東京都武蔵野市、代表：横田宗）が手掛ける小学校向け給食支援プログラムを、スポンサーとしてサポートすることとなりましたので、お知らせいたします。

フィリピンにおいては、近年の物価高騰などにより、貧困層の子どもの栄養状態は深刻な影響を受けています。当社グループとしましては、本プログラムのスポンサーとなることを通じて、微力ながらフィリピンにおける子どもの栄養状態改善に貢献してまいりたいと考えております。

2025 年 8 月 29 日には、支援対象となるマニラ首都圏 Navotas 市の Tanza Elementary School において、給食提供の場として設置された「赤メガネ食堂」の開所式が開かれました。

本プログラムにおける InfiniVAN の主な活動の概要は、以下のとおりです。

【対象】 Tanza Elementary School
【場所】 マニラ首都圏の Navotas 市
【対象】 児童 8 名（1 年分）の給食支援

- フィリピンの小学校において「赤メガネ食堂」を開設
- 児童 1 名当たり月間 2,000 ペソ（約 5,500 円、20 食分）、年間 24,000 ペソを支援
- 児童・保護者向けに栄養改善指導を実施





Navotas 市はマニラ首都圏北西部に位置し、主な産業は漁業で、フィリピンでも有数の洪水地帯です。近郊には、貧困の象徴的なエリアであるスラム地区もあります。Tanza Elementary School は、スラム地区や台風などの被災者らが居住する低所得者向け住宅が学区内にあり、児童の栄養不足の解消が課題となっています。

赤メガネ食堂は、児童の憩いの場として、安心して給食を食べてもらうための施設です。アクションは、大手コンビニ向けにお弁当やおにぎりなどを製造している企業とも提携し、肉や野菜、調味料などを毎週赤メガネ食堂に配送し、校内の調理場で調理されます。こうした取り組みを通じ、食材の仕入れコスト低減や少人数での効率的オペレーションを可能としており、これまでに多くのスポンサー企業からの協力を得て、毎年児童 100～140 人の給食を累計 150 万食提供しています。

当社グループは、通信インフラの整備を通じたフィリピン経済社会の発展への貢献を目指しており、日ごろからのご理解・ご支援に深く感謝しております。今後も、フィリピンへの還元を図ってまいります。

■アクションについて

NPO 法人アクションは、1994 年の設立から 30 年以上にわたり、フィリピンにおいて児童養護施設や貧困地域の子どもたちへの支援を継続してきた日本発の NGO です。

■InfiniVAN について

フィリピンにおいて通信インフラの地域格差是正に取り組んでおり、2023 年にフィリピン国内海底ケーブルネットワーク (PDSCN) が完成、ビサヤ・ミンダナオ地方を含め全土にサービス展開しています。

以 上

社名：株式会社アイ・ピー・エス

証券コード：4390

所在地：東京都中央区築地 4 丁目 1 番 1 号 東劇ビル 8 階

代表者：代表取締役 宮下 幸治

本件に関する問い合わせ窓口：IR 課 03-3549-7719